



ボランティアのチカラをフル活用！

NPO法人東京里山開拓団
代表 堀崎 茂

東京里山開拓団が救世軍機恵子寮さんと共に八王子の山林に通い始めて丸8年経ち、合計57回で延べ300人以上の子どもたちが参加してくれました。この活動は荒れた山林を里山として再生保全しながら、自然の恵みを生かして、自らふるさどをつくり上げるという「環境保全」と「児童福祉」の一石二鳥の試みです。

昨年、厚生労働省より、子ども家庭局長賞を授与されました（「第8回 健康寿命をのばそう！アワード」席上）。児童養護施設を所管する省庁からの表彰は感慨深いものがありました。なぜなら現行の行政が「心のケア」と「退所後の支援」に大きな課題を抱える中で、本活動はお金に頼らずに自然とボランティアのチカラをフル活用する全く新しい試みだったからです。

私がアウトドア趣味が高じて荒れた山林に通い始めたのは2006年のことです。無心になって開拓作業すると心のもやもやがずっと晴れていくのを感じ、これは本当に必要とする人とおこなえば、もっと価値を発揮できるはず、と2009年に東京里山開拓団を発足させました。ただ、会員による開拓は進むものの、児童養護施設との実施はいろいろ打診しても進展がなく、悩める期間が3年続きました。やがてボランティア支援団体より救世軍機恵子寮の高田主任（現施設長）を紹介していただいからはとんとん拍子で話が進み、2012年1月に初実施できたのです。

里山では、幼い子ども同士が助け合って急な道に登るところをよく見かけます。焚火料理を食べながら、昔、親と食事に出かけた楽しい思い出を語ってくれた子もいました。自由時間には子どもたち一人ひとりに大人が寄り添いつつ、やりたいことをして過ごします。いずれも施設内ではなかなか見られない光景と聞きます。里山は「ありのままにいられるところ」と言ってくれた子もいました。心理の専門家でも子どもが心を開くまでには相当な時間がかかるものですが、里山では会ったばかりの素人の大人にも自らすぐ心を開いてくれます。

高田施設長はこう言われます。「かつて子どもたちが施設に来た時の様子や背景を知っている私たちからすると、こんなふうにはまる姿は胸にこみあげてくるものがあります。」

これから目指すところは、まずは何より活動を継続



里山を開墾して、畑をつくり、種蒔きをしています。「いのち」を育てていくことも、次の活動への期待につながります



(写真左より) 里山での綱引き大会、展望台づくり、木工作業に挑戦する子どもたち



することです。本活動は、支援者の何かを犠牲にして子どもたちを支援する・子どもたちは支援される、というものではありません。実際子どもたちは大人が考える自然遊びなどより、新たな道の探検、根っこ・石掘り、ツリーハウス・かまど・トイレ制作といった開拓作業自体に熱中します。子どもたちの方こそ里山保全と私たちの里山趣味を力強く支えてくれていて、いわば支援する・されるを超えた「お互い様の助け合い」の関係です。そんなお互いにとって大切な関係の強化こそが継続の鍵となるはずで

また、8年前小学生だった子が退所する年齢になり、会員に近い立場で里山開拓に参加協力する人になってくれるという嬉しいことが出てきました。もし会員として参加してくれるようになれば、後輩の子どもたちにも、継続してずっと里山に通える道筋が明確になるはずで

さらに、自主事業として企業向け里山研修事業の立ち上げにも取り組んでいます。昨年、ファーストユーザーのSCSK(株)様向けに、社会貢献、チームワーク、メンタルケアを里山で実践する1日研修を実施しました。この取り組みの主な目的は、助成金や寄付に頼らず継続できるNPO運営モデルづくりにありますが、もう一つ、退所者を里山案内役として雇用し、就業体験や自立支援に役立てるという大切な目的もあります。

このような試みを重ねる中で、救世軍機恵子寮さんが「全国初の里山付き児童養護施設」として広く認知されることを願っています。そして、都内の児童養護施設から全国に約600ある児童養護施設へこの活動が認知され、各地で厄介者扱いされている荒れた山林を伐りひろいて、それぞれのふるさどをつくり上げていく……そんな想像が広がるばかりです。

「第8回 健康寿命をのばそう！アワード」表彰式
主催：厚生労働省・スポーツ庁



2019年11月11日(月)、「健康寿命をのばそう！アワード」の席上、厚生労働省より、子ども家庭局長賞が授与されました(後列左から4人目)

救世軍は多くのボランティアと支援者のみなさんの思いに支えられています

※社会福祉法人救世軍社会事業団の17の施設(15ページ参照)は2019年度に、計568件(法人本部宛も含む)のご寄付をいただきました感謝しつつご報告いたします

Declare His Glory